

鹿島臨海鉄道 安全報告書 2016年度版



1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。
当社は、経営計画の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鹿島臨海鉄道（株） 代表取締役社長 玉木 良知

2. 安全に関する基本的な方針

「安全」は、当社がお客さまとお客さまからお預かりした荷物を無事お届けすることを使命とする鉄道事業を継続・発展させ、社会に貢献していく上で最大の基盤となるものである。この認識を全社員が共有し、社員一人ひとりが安全について自発的に考え行動することで、「安全最優先」の職場風土を確立する。

3. 安全目標

- (1) 列車事故などの重大な事故の絶滅
- (2) 8つの特定事故（信号違反、速度超過、居眠り運転、ドア誤扱い、手ブレーキ扱い不良、コンテナ開扉、危険品漏洩、保守間合・線路閉鎖工事取扱い誤り）の絶滅
- (3) 触車、墜落、交通事故などの重大な労働災害の絶滅

4. 安全対策の重点実施項目および取組み内容

『具体的な事故防止活動』（3つの柱）

- (1) 安全最優先の意識の向上
- (2) 安全を管理する仕組みの定着
- (3) 事故の再発防止・未然防止

『安全を支える基盤の強化策』（2つの柱）

- (1) 教育訓練の充実と人材育成
- (2) 運転設備の適切な管理

5. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 鉄道運転事故（列車又は車両により人の死傷又は物損を生じたもの）
鉄道運転事故の発生はありませんでした。
- (2) 輸送障害（旅客列車については30分以上、貨物列車については1時間以上の遅延や運休が生じたもの）
輸送障害は11件発生しましたが、9件が自然災害によるものでした。
その他の2件は、踏切において自動車と接触によるものでした。
- (3) 災害（豪雨、地震などによる鉄道施設や車両の被害）
豪雨、地震などによる列車の乱れや運休はありましたが、鉄道施設及び車両に被害はありませんでした。
- (4) インシデント（運転事故が発生するおそれがあると認められる事態）
インシデントの発生はありませんでした。
- (5) 行政指導等
行政指導等はありませんでした。

6. 安全確保のための取組み

- (1) 安全への設備投資
 - ・新型気動車(2両)の更新を行いました。
 - ・高架橋コンクリート剥落対策を実施しました。
 - ・既存車両の列車無線デジタル化の工事を行いました。

(2) 安全実行計画の策定

職場毎の「安全実行計画」を策定し、正しい作業の実践と事故の再発・未然防止等に社員一丸となって取り組んでいます。

(3) 人材教育

職場毎の年間教育計画に基づいた教育を実施した他、JR貨物及び(一社)日本鉄道運転協会等で実施している研修等を活用し人材教育を行っています。

(4) 緊急時対応訓練

各駅区では、安全実行計画に基づき、列車が故障し自力走行が出来なくなった際の取扱い方、信号機が故障した際に列車を到着させる取扱い方、電気ポイント故障時の手回しハンドルでのポイント転換及び鎖錠金具の取扱い方を自社独自で実施しました。また、JR東日本と異常時合同訓練を実施しました。



列車故障時の救済訓練



車いすのお客さま救済訓練

7. 当社の安全管理体制

安全推進室長を委員長とする「安全推進会議」を毎月1回開催して、運転事故等や労働災害の防止に関する事項を審議し、対策の策定や事故防止の推進を図っています。

8. 地元の皆さまとの連携

鉄道会社の最大の使命であります「輸送の安全確保」を図るため、新型車両の導入や老朽設備の更新などを着実に進めているところです。

ご連絡先

TEL. 029-267-5200 FAX. 029-267-7363

E-mail email@rintetsu.co.jp